第１回愛媛県テコンドー選手権大会　結果

令和７年５月18日　愛媛県武道館

選手宣誓　山本　周平（愛媛松山）

主催者より

大会開催経緯

愛媛松山テコンドークラブ創設から 18 年。

当初は社会人4、5人が山奥の武道場で練習していましたが、練習場所を市街地に変更してからは、少年少女部から壮年部まで、幅広い年齢層の仲間が増えました。

メンバーが増え、クラブの活気は増してきたものの、どこかマンネリ化しており、刺激が少ないことは否めませんでした。

そのような中、「クラブ生同士が良きライバル関係を築くとともに、松山クラブ内の蹴武型の No.1 を決めよう！小規模でも開催することに意義がある！」との河会長からの提案を受け、本大会の開催に至りました。

大会内容

大会参加者は8名。まず、①小・中学生部　②高校・大学生部　③壮年部の3ブロック毎の総当たり戦（予選）を行い、各ブロック勝者による決勝戦を行いました。

当初は各ブロック1名ずつの想定でしたが、最も激戦区であった小・中学生部からは2名の選出となり、計4名での決勝総当たり戦となりました。

結果、ベテランの山本　周平（大学 1 年）がすべての試合を制し、記念すべき初代チャンピオン（優勝）に輝きました。次いで、幼少時から頑張っている加地　桃悠（現在小学6年）が準優勝、期待のホープ・ムードメーカー和氣　鷹介（中学1年）が 3 位、決勝戦の紅一点　松田洋子（壮年部）が4位となりました。

惜しくもブロック予選で敗退した選手たちも、普段以上の演武を見せてくれ、判定に迷うことが多々あり、総じて良い試合だったと感じています。

大会に出場された選手たちは、試合という非日常を経験したことで、精神面で更なる成長を遂げられたと思います。また、世代・性別をかけがえのない刺激となったのでは

課題と抱負

今回は8名による型のみの大会でした。組手出場希望者も増えてきたことから、今後は、組手部門も開催できるよう、組手系の練習メニューを増やして、技術とモチベーションの向上を図っていきたいと考えています。

最後に、本大会開催のきっかけをくださった河会長をはじめ、出場を決めて奮戦してくれた選手の皆様、それをサポートしてくださった保護者、関係者、黒帯の皆様のおかげで、本大会を開催し、無事終えることができましたことに、厚くお礼を申し上げます。

愛媛松山テコンドークラブ長　河野　昌俊

表彰式（入賞者　前列４名）

入賞者コメント（蹴武型　三部）

優勝　山本　周平（愛媛松山）

今回の大会は小規模でしたが、愛媛県初であり、人生初でもある記念すべき大会を優勝で収めることができて、とても嬉しかったです。

今回手にした金メダルを部屋に飾り、テコンドーは勿論、様々な物事へのモチベーションにし、日々精進して参ります。

準優勝　加地　桃悠（愛媛松山）

初めての大会で緊張しましたが、今までの練習の成果を発揮し、準優勝することができました。次は必ず優勝できるよう、普段の練習から取り組みたいです。

３位　和氣　鷹介（愛媛松山）

初めて大会に出場して、とても緊張したけれど、練習の時以上に力が発揮できて、入賞ができてとても嬉しかったです。

これからも、練習を頑張って色々な型を出来るようになりたいです。

４位　松田　洋子（愛媛松山）

　恐れ多くも４位に入賞できて驚いています！

　日頃の先生や先輩方のアドバイスのおかげだと思います。本当にありがとうございます。大会に出場したことで、まだまだ足りない部分が客観的に分かり、とても良い経験となりました。

　次は緑帯に挑戦します。河会長のお話を聞いて、一見無理と思うことにも挑戦してみたいという気持ちになれたので、今度は組手にも挑戦してみたいです。

大会の様子